

(様式)

普及項目	担い手
漁業種類等	ノリ養殖
対象魚類	ノリ
対象海域	有明海

## 海苔養殖漁業者による担い手確保に向けた取組み支援

県北広域本部水産課・永田 大生

### 【背景・目的】

海苔養殖業で大きな課題となっている担い手確保について、有明地区漁業士会所属の漁業士による、①全国規模での就業者フェア出展、②県内高校へのリクルート、を支援することで、将来の担い手確保につなげていくことを目的とした。

### 【普及の内容・特徴】

#### (1) 全国規模での就業者フェア出展

日時：令和元年(2019年)6月15日

場所：福岡県福岡市中央区天神 西鉄ホール

参加者：有明地区漁業士会会員3名、県漁連職員2名、県水産関係職員2名

#### 概要

事前に漁業士に対し掲示用資料や動画の準備を指導した。また、当日は、若者を中心に積極的にブース訪問を促す呼びかけを行ったところ5名がブースを訪れた。

#### (2) 県内高校へのリクルート

日時：令和元年(2019年)7月11日および18日

場所：県立高校4校(熊本県立天草拓心高校マリン校舎・本校、上天草高校、熊本農業高校)

参加者：漁業士1名、県水産課職員1名

#### 概要

漁業士から、「正社員として若い人材を周年雇用し、海苔養殖漁業者を育てたい。」との相談があったことから、当課が高校に漁業士を紹介し、ヤングハローワークへの登録後、高校を訪問し、進路担当教諭に対して求人情報や海苔養殖業の魅力を説明した。

### 【成果・活用】

フェアでは、17~28歳の若者5名がブースを訪れ、うち3名が「体験意向あり。」と回答した。参加した漁業士から「来年も出展したい。」との感想があり、担い手確保について考える機会を作ることができた。しかし、体験依頼がなかったことから、受け入れ体制を強化する必要性を感じた。また、訪問した高校全てで、海苔養殖業の求人は初めてであり、漁業士と高校との新たなつながりを作ることができた。その後、漁業士自らが高校との調整・訪問を行う行動につながった。本取組みは、まだ担い手確保に繋がっていないため、高校生に直接魅力を伝えるためより積極的な情報発信が必要である。

(様式)



c)	No.	性別	現住所 (県)	年齢 (歳)	出身地 (県)	職業	体験意向 の有無	体験 実施
	1	男	福岡	28	愛知	会社員	—	×
2	男	福岡	17	福岡	高校生	—	×	
3	男	山口	18	兵庫	水産大学生	○	×	
4	男	山口	19	兵庫	水産大学生	○	×	
5	女	福岡	17	福岡	水産高校生	○	×	



f)	訪問高校	訪問日	担当教諭の意見	就業の 有無
	拓心 マリン校舎	R1.7.11	県外の大きな会社への就職が多い。寮の確保 など、福利厚生充実が必要。	×
拓心本校	〃	興味がある生徒に対し、現場見学を勧める。	×	
上天草	〃	今後も継続的に求人を出してほしい。	×	
熊本農業	R1.7.18	地元就業希望者が多いので、就業につながる 可能性がある。	×	
北稜	〃	同行せず	×	

就業者フェア(a~b) ノリ養殖業を説明する漁業士 (c) ブース訪問者の基礎データ 高校リクルート  
(d~e) 拓心高校マリン校舎・本校 (f) 訪問内容